

# わが国の国家安全保障における サイバーセキュリティと デジタル化戦略

慶應義塾大学 特任教授

手塚 悟

## はじめに

全4回シリーズで掲載する「サイバーセキュリティとデジタル化戦略を考える」の第1回では「ウクライナ情勢における重要インフラ防御と台湾有事への備え」について、第2回では「米国の国家安全保障におけるサイバーセキュリティとデジタル化戦略」について説明した。

「国家安全保障におけるサイバーセキュリティとデジタル化戦略」は、世界のどの国・地域にとっても、国民を守り国土を守るためには、極めて重要な課題である。

第3回では、「わが国の国家安全保障におけるサイバーセキュリティとデジタル化戦略」について述べる。前回の「米国の国家安全保障におけるサイバーセキュリティとデジタル化戦略」と比較して、わが国がどのような状況であるかを明らかにし、次の一手として何をなすべきかを解説したい。

## 元米国国家情報長官デニス・ブレア氏の指摘

2022年4月13日から16日にかけて、筆者の発案により、慶應義塾大学が元米国国家情報長官デニス・ブレア氏を招聘した。その目的は、わが国の国会議員、政府関係者、企業関係者に対

して、わが国のサイバーセキュリティに関する米国の考えを語ってもらうことであった。

ブレア氏は、米国の軍人として、米太平洋軍司令官を、政治家として米国国家情報長官を歴任している。その後、笹川平和財団米国のCEOとして日米の諸問題の解決に尽力してきた経歴をおもちである。現在は、ノースカロライナ大学チャペル・ヒル校特別客員教授をされている。

筆者との接点は、毎年、慶應義塾大学で「サイバーセキュリティ国際シンポジウム」を開催している中、2016年開催のシンポジウムの際に、共同主催者としてお会いしたのが始まりである。それ以降、わが国のサイバーセキュリティの課題について一緒に検討をしてきた。ブレア氏のわが国に対する熱意を筆者は日々感じていたので、慶應義塾大学で招聘して、サイバーセキュリティ分野におけるわが国を代表する国会議員、政府関係者、企業関係者に会ってもらい、その考えを知ってもらうことにしたのである。

ブレア氏がわが国に対して語った内容を要約すると、「日米同盟の下、最大の弱点はサイバーセキュリティである」とのことであった。これは、わが国の国会議員、政府関係者、企業関係者に大きな驚きを与えた。現在では、この時の状況を「ブレア・ショック」と呼んでいる。

## 日米同盟の下、最大の弱点はサイバーセキュリティ

日米同盟の下でのサイバーセキュリティを見た場合に、わが国と米国との間でサイバー防衛のカウンターパートを明確にして検討を深める必要がある。

図1で示すように、日米同盟にとって、三つの重要なカウンターパートが必要であるが、わが国の整備状況が米国に追いついていないとの指摘をブレア氏から受けた。具体的には、以下の3点である。

- ① 米国側のサイバーセキュリティを取りまとめるホワイトハウスのナショナル・サイバー・ディレクター、Mr. Harry Coker に対して、わが国のカウンターパートとなる人物が明確でない。
- ② 米国側の「NSA/US Cyber Command/Five Eyes」の組織に対応する、わが国のカウンターパートが存在していない。
- ③ 米国側の「JCDC (Joint Cyber Defense Collaborative)」に相当する組織としては、わが国では NISC (National Information Security Center : 内閣官房情報セキュリティセンター) が担うのであるが、この NISC の活動も総合調整省庁の域を出ない

ので、米国側と連携するだけの力がない。以上のことより、わが国は、これら3点のカウンターパートを早急に整備する必要がある。

## 衆議院予算委員会での質疑

2022年5月26日の第208回(常会)衆議院予算委員会で、自民党政務調査会安全保障調査会の会長である小野寺五典衆議院議員が質問に立った。質問の内容は、国家安全保障の視点からのサイバーセキュリティ対策である。

当日の衆議院予算委員会の模様はNHKでライブ放映されていた。その録画をもとに、小野寺五典衆議院議員の主要な発言を2点、以下に記す。

**発言1** 「実は、今回の私どもの提言をまとめて、ゴールデンウィークに国会のお許しをいただいて、ワシントンで米国関係者との議論をしてきました。そこで真っ先に言われたのは、日本のサイバーセキュリティ能力の低さです。ある人はゼロと言っていました。この何が問題かという、万が一ウクライナで起きたような様々な情報をこの日本周辺でつかんだとして、その情報を日本と共有したいと思っても、日本にもたらしたら漏れてしまうかもしれない。だったら渡せないと言われたことです。安全保障上、大変大きな問題となっています。」

**発言2** 「私たちの勉強会にわざわざワシントンから来られた元情報機関のトップの方は、日米同盟の最大のウィークポイントはサイバーセキュリティだと仰いました。私どもも様々な防衛能力を上げていきますが、このサイバーセキュリティだけは政府全体でしっかりとやっていただかなければいけない。そういう意

### ● 日米同盟におけるサイバー防衛のカウンターパート



図1